

金賞 鳴海 舜君

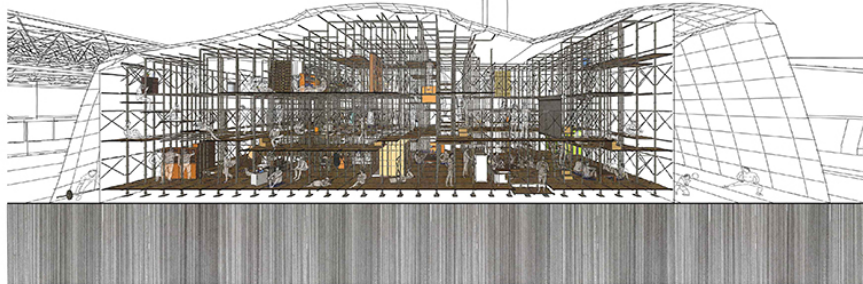
釧路工業高等専門学校建築学科 「コミュニティを体現する足場群」

自身の通う学校の学生の属性の変化と施設の老朽化といった身近な問題を「コミュニティを再現する足場群」をコンセプトにまとめた作品である。学内の寮の部屋の不足、コミュニティ空間の不足などの課題への解決手法として対象敷地の余剰空間に対し、可変的で自由なシステムとして足場材を用いた提案となっており、劇画的な表現手法と相まって、どこか懐かしい魅力的な表現となっている。学生の要求(機能)から空間が作られたかのようなアノニマスな形状は、足場を用いる制約以上に多様な空間作り已成功しており、極めて高いレベルの作品であった。よって、金賞に相応しいと判断されたものである。

(文責：齊藤 文彦)

コミュニティを体現する足場群

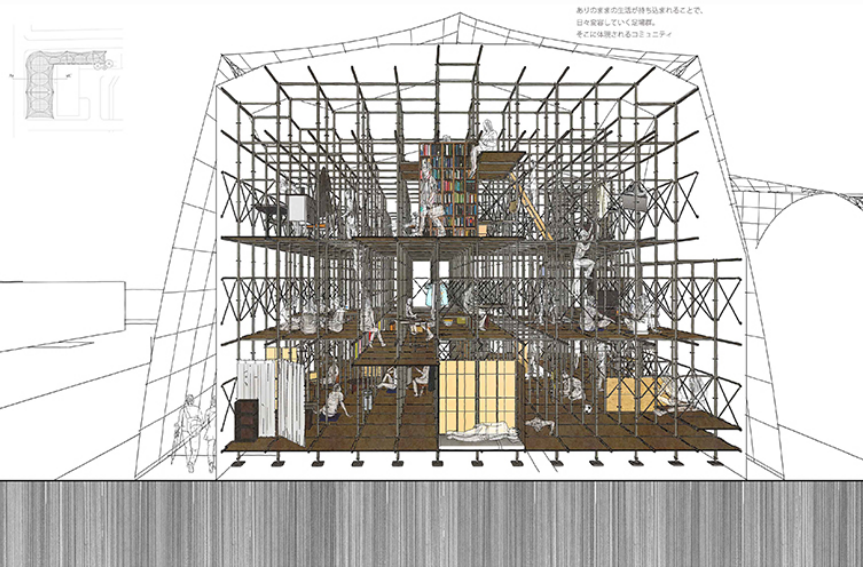
この内蔵のコンセプト、「コミュニティを体現する足場群」
都市と自然を結ぶ、都市の環境をつくる足場群。
都市の環境をつくる足場群。都市の環境をつくる足場群。
都市の環境をつくる足場群。都市の環境をつくる足場群。
都市の環境をつくる足場群。都市の環境をつくる足場群。
都市の環境をつくる足場群。都市の環境をつくる足場群。



足場の奥まで、奥に隠れた小さなリビング等をもつスペース

リビングを表現するスクリーン

奥の奥の奥までつなぐ、繋がらずに繋がるグループ



ありのままの足場が持ち込まれることで、
日々変化する空間が生まれる。
そこで体現されるコミュニティ

A-A' Section Perspective

※この図面も、今年度建築設計コンクールから受賞した、優秀賞の一画にすぎない